



漢字の意味を知ることの大切さ

点字学習を支援する会（横浜市）

近年のパソコンの普及は、視覚障害者の世界にも大きな変化をもたらしました。音声ソフトや六つのキーだけを使う入力方式で操作ができ、暗眼者と対等の文字処理ができると積極的に使い始めました。しかし、点字は全て仮名で表記されているために、漢字教育を受けてこなかった点字使用者は同音異義語の多い漢字選択に非常に苦労し、メールや文書作成に躊躇する状況が生じています。

「点字学習を支援する会」は、視覚障害の方々の社会参加を支援するために、漢字を中心とした点字学習教材を提供する活動を行っています。

今回は、漢字教材を作るまでの経緯や苦労話などを、代表の道村静江さんに伺いました。

様々な困難を乗り越えて

横浜市立盲学校の教員である道村さんは、業務の傍ら有志を募り、会を発足させ、幼少の点字を習う時期にあわせて、漢字の形や意味、音訓読み、語例などを教える

ための教材作りに着手しました。

道村さんは、「漢字指導を始めた当初は、筆ペンで字体を書き、手書きの点を加える手作り教材を作っていました。修正がきかず、さわっても分かりづらいものでした。しかし、点図作成ソフトの登場で、形などをきれいに作れて、しかもデータとして残すことができるようになりました。これを活用していくと、子どもたちに漢字の知識と力が積みあがる成果が現れ、とても楽しい学習ができました。漢字選択に苦労している大人たちも活用してもらいたい」と、小学

六年分
の漢字を
作成し、
会のホームページで公開し、自由に使ってもらうことにしました。」と



点字学習教材を使って漢字の意味を勉強しています

話します。

全国の関係者から大反響がありました。点字プリンターが気軽に使えないなど、データ活用が難しいという声がありました。そこで、今までの課題を改善し、細部にわたる工夫を盛り込んだ漢字冊子を発行しました。点字には色を付け、点字の下には活字を添えることで、何が書かれているのかわかり、点字を知らない人とも一緒に漢字の学習ができる冊子にしました。また、そこに学習に必要な漢字の意味や成り立ち、部首などの解説文も加え、現在、小学三年生まで発行しています。

道村さんは「視覚障害者も漢字文化を共有したいのです。漢字を学べる機会の保障と共に、これからの積極的な社会参加への足がかりとなるような支援の取り組みを続けていきます。本来であれば教育教材として保障されるべきものですが、現状は個人的なボランティア活動で、経費捻出の課題があります。しかし、少なくとも小学六年分までの約千文字分の教材発行は行っていきます。」と結ばれました。（企画課）

点字学習を支援する会

URL: <http://tenji-sien.net>
E-mail: smicchi@olive.ocn.jp
e.jp

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808
TEL 03(3449) 1771 / FAX 03(3449) 1772
URL: www.yasue-sekkei.co.jp
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



S 保育園(川崎市)



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください